

「親の学習」埼玉県家庭学習支援プログラム集の発刊に当たって

埼玉県では、家庭の教育力の向上を図るため、平成19年度に『親の学習』プログラム集」を、平成24年度には、働きながらの子育てなど今日的な課題に対応するための『親の学習』プログラム集増補版」を作成しております。また、これらのプログラムを活用した「親の学習」講座の指導者である「埼玉県家庭教育アドバイザー」を養成し、平成28年4月現在、830人の方に登録をいただいております。「親の学習」講座は、就学時健康診断や家庭教育学級などで行われており、平成27年度の実施回数は1,320回を数え、73,000人を上回る方々に受講していただきました。

一方、かつてない少子高齢化への進行や核家族、ひとり親世帯の増加など、子供たちを取り巻く家庭や地域の環境は、著しく変化しております。そのような中、子供たちが自らの能力と可能性を開花し、社会で生き生きと活躍できるようにするためには、家庭と学校が互いに協力しながら、子供たち一人一人に、様々な学びへの興味・関心や苦手な分野を克服する力などを育てていく取組が重要となります。

県では、平成27年度から「埼玉県学力・学習状況調査」を開始し、教科に関する調査と子供や保護者への質問紙調査を実施・分析しております。調査からは、家庭での生活習慣や家族とのふれあいなどが、子供たちの自己肯定感や学習意欲に深く関わっていることが分かりました。

中でも、子供たちの学びの基盤となる生活習慣や学習への意欲は、家庭での働き掛けによって大きく変わるものです。しかし、「子供のやる気をどのように引き出せばよいのだろう」、「どのようにすれば、子供が勉強するようになるのだろう」という悩みを抱えている保護者が多いのではないのでしょうか。

そこで、子供たちの学ぶ喜びや意欲を高め、家庭における学習習慣の定着を目指した新たな「親の学習」プログラムとして、「埼玉県家庭学習支援プログラム集」を刊行することといたしました。このプログラム集を活用した「親の学習」講座を通じて、保護者の不安感を軽減し、家庭における取組を推進するとともに、主体的に学び、考え、行動できる子供たちの育成を図ってまいりたいと考えますので、御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本プログラム集の作成に当たり、格別の御尽力をいただきました埼玉県家庭学習支援プログラム集作成委員会委員長の首藤敏元先生、同委員会ワーキンググループ座長の嶋田洋徳先生をはじめ、各委員の皆様並びに関係各位に深く感謝申し上げます。

平成29年3月

埼玉県教育委員会教育長

関根 郁夫